

海外で作成された補綴物

日歯が取扱の 周知を徹底

日本歯科医師会（大久保満男会長）は、国外で作成された補綴物の取り扱いについて、平成17年9

月の厚労省通知の周知徹底と同時に今後も「歯科医師の責任の下、情報提供を行い、適切な歯科医

療の提供」を求める文書を3月18日付で都道府県歯会長に送付していた。また、米国で中国製の義歯修復物から危険なレベルの鉛が発見されたことについては「情報収集に努めている」とし、新情報が入り次第、情報提供を

行っていく予定とした。今回の文書は、2月25日の厚労省主催の全国医政関係主管課長会議で海外技工物の取り扱いについて説明があったことから日歯としても再度、周知徹底を図る意味で各都道府県歯に送付した。